

令和4年度 第3回 学校運営協議会

日 時：令和5年2月15日(水) 15:40~17:00

場 所：別館ふれあい教室

出席者：大東委員(オンライン)、田中委員、松宮委員、福留委員、津田委員

事務局：重松校長、橋爪教頭、中川事務長、岩田首席(総務部長)、小林首席、長谷川先生(教務部長)
和田先生(生徒指導部長)、上野先生(生徒会主任)、田中裕先生(進路指導部長)
岡田先生(3年学年主任)

欠席者：田井委員、西基先生(保健部長)、北郷先生(2年学年主任)、奥田先生(1年学年主任)

内容

1 校長挨拶

1年間の総括の時期。各種アンケートの結果を踏まえ、令和4年度 学校経営計画の自己評価および、令和5年度学校経営計画について報告させていただきます。

限られた時間ではありますが、ご指導、ご鞭撻のほどお願いします。

- ・学校教育自己診断アンケート(生徒・保護者・教職員)の結果および自己評価について(校長より説明)

2 事務局報告

- ・別途資料をもとに、各分掌・学年の取組状況および成果・総括について説明

- ・分掌・学年の説明を踏まえ、令和4年度学校経営計画(自己評価)説明
目標指標に達していない項目について△および×の評価について説明

- ・令和5年度学校経営計画についての説明(校長)

めざす学校像については、スクールミッション策定時の議論を踏まえ、表記を変更している。
また、教育庁より次年度の取組重点として挙げられている項目を取組項目に設定した。
尚、指標については、今年度の状況も踏まえ記載。

3 協議・意見交換

(松宮委員)・家庭学習時間については、自立的に学習する、そのきっかけとして、2年生の第1志望宣言、目標設定、その目標実現に向けての取組を、自身でどのようにPDCAを回すことができるか？

- ・交通安全のビデオ作成は、交通ルールを守る啓発活動に繋がるいい取り組みであり、その動画を色々な場面で中学生等に配信できればと思います。

- ・新書の購入を図書委員と一緒に新書購入した報告があったが、電子化が進むと本の検索が早くなり、また、デジタル図書を活用により読書が増えるのでは。

- ・働き方改革について、週80時間を超える教員が一定数いると思われるが実態は？

また、学習指導要領が改定され、その取り組みにより先生方の多忙感は増しているのか？

校長 月80時間を超える教員が一定数いる。

部活指導や日々の提出物の確認、教材の準備等に追われている状況。

観点別学習評価では、それぞれの活動において評価を見取ることがあり、そのパフォーマンスを評価するためのルーブリック(評価基準)の策定等に追われている感がある。

一方で、端末を活用し情報共有することで、資料の印刷・配布等の準備に要する時間を縮減をしているが、一部の時間短縮に過ぎないのが現状。

上野

体育を担当している。これまでであれば、それぞれの競技テストを行い、評価をしていたが、新教育課程では、生徒の動きを観察し、それぞれの取組に対する評価指標や課題設定を設定し、どのように評価するかを日々奮闘している状況。場合によっては、取組状況を動画に撮影し、振り返るなどを行っており、指導と評価に要する時間が増えている。この1年間取り組んできたが、ここ2、3年は継続して行っていく必要がある。

- 田中委員 職場の近くに寝屋川第1中学校があるが、深夜遅くまで校舎に電気が灯っている。先生方が部活動や学習活動、その他多くの業務に携わっておられ、そのような時間帯まで業務されているのか心配。保育者すべてがジェネラリストであるように認識されているが、短大(2年)もしくは4年生大学を卒業し保育の職に就く者もいる。多くの保育者が、リアリティショックを受けている。通常の業務に加えて、保護者対応等、本来の業務の周辺業務については、そのスペシャリストが対応したり、ノンコンタクトタイム(代替職員を配置し、その時間帯には保育者の本来業務を携わる時間とする)を運用している現場もある。一朝一夕に変えられるものではないが、・・・。
- 福留委員 第6中学校でも、防犯上の観点から校舎の一部を点灯している。月80時間の時間外労働している教員は平均で5、6名いる。仕事の仕方に偏りがある場合には、その業務を他の教員に割り振ることで、多少ましにはなっている。時間外労働が多い教員には声かけを行っている。毎週水曜日を定時退庁日としているが、行事前には、(時間外労働が)増えている現状。
- 田中委員 先生方が輝いていないと、その姿をみている生徒達に、働き甲斐や働くことへの憧れなどを感じさせられないですね。
- 福留委員 「個性を理解し、互いを尊重し、差別やいじめを許さない人間性を育む。」との記載があるが、外部から講師を招聘し、講演を行っていただく等の取組はあるのか。本校でも一昨年LGBTの研修を行った。
- 校長 人権HRを各学年が計画し、外部講師を招聘したり、啓発用の動画を鑑賞したりしている。また、職員研修では、外部講師を招き、毎年研修を行っている。
- 津田委員 自治会の生徒が自主的に校区の児童を見守ってくれていることはありがたい。SGS(スクール・ガード・サポーター)の取組は、当初、同じ方面に帰宅する子どもたち(児童・生徒)と一緒に帰宅するような取組から始まったもの。地域に関わる子ども達が、この活動を通じて、高校生への憧れを抱く等の取組になればいいと考えている。地域協議会は、小学校区(三井小学校・宇谷小学校)に改編されるが、引き続き、寝屋川第10中学校の校区協議会としてSGSの取組については継続されるので、引き続き、見守ってもらいたい。
- 大東委員 令和5年度計画のめざす学校像の中に「自ら考え社会貢献に繋がる課題解決に向け、行動できる力」とあるが、(先程紹介のあった)課外活動によって培われる力のように見受けられ、正規の教育活動、計画の中には見受けられないように感じる。その辺りに、違和感を感じるが、・・・。
また、家庭学習時間については、毎年話題になっているが改善されていない。学校の勉強以外の時間を問うているのか、授業の中で各教員がアドバイスをする等、抜本的な取組が必要なのでは。
- 校長 課題解決については、先日も理数アドバンスコースの生物選択の生徒が、探究発表を行い、その発表を物理選択者が(オーディエンスとして)視聴し、質問をする等の授業がありました。今後、自ら調べたことを発表し、質疑を交わすことで理解や見識を深める学習活動が増える。そのような学習活動を通じて、課題の解決法を探り、発表する中で、培われる力と考えている。そのようなことから、記載している内容です。
また、学習時間について、生徒への質問は、「授業以外で一日どれくらい勉強をしていますか。」という設問を立てており、その回答として1時間未満の生徒が多くいる現状。授業観察をした所では、英文や古典の原文書写等、(前回の授業での)宿題・課題にも取り組んでおり、一定時間の学習活動は行っていると感じている。中には、授業に関わること以外、自分自身の進路実現に向けた受験勉強や、資格試験等の取組に要する時間を回答していることも考えられるので、次年度は設問を工夫し、実態把握に努める。
- 大東委員 学校現場の働き方改革における部活動指導に要する時間が多いと聞く。また、地域活動への移行が謂われており、高校ではどのような状況か。
- 校長 府立学校における部活動大阪モデルが策定され、自転車での移動時間が概ね20分の府立学校でペ

アリングし、週末・長期休暇中の合同練習を令和5年度から実施することとなっている。
皐が丘について、条件を満たす高校は1校あるが、部員数等活動状況を踏まえてペアリングはなされていない状況。加入率については、中期計画に満たない状況であるが、引続き、勧誘・継続できるよう検討する。